

老人クラブ三大活動 **健康** **友愛** **奉仕**

ねんりんおうみ

—— 近江シニアクラブ 第93号 ——

米原市近江老人クラブ連合会発行 電話 0749 (52) 4393

祝 第45回 近江高齢者大会



喜寿・米寿・金婚 慶祝者代表



米寿代表



喜寿代表



金婚代表

10月6日(木)近江学びあいステーション「ときめきホール」において近江老人クラブ連合会主催の「第45回高齢者大会」が開催されました。
開会の言葉に続き、物故者会員に対して黙祷、近江老ク連の藤田会長挨拶の後、社協事務局長吉田様のご祝辞をいただき、白寿1名、米寿40名、喜寿28名、金婚9組のそれぞれの代表者の方々に藤田会長よりお祝い状と記念品の贈呈がありました。
慶祝者を代表して森政一様より謝辞をいただきました。

来賓のご祝辞

当日いただいたご祝辞を
そのまま紹介します

高齢者が支える地域社会へ
米原市社会福祉協議会
事務局長 吉田兼次



本日は、高齢者大会の開催、誠にありがとうございます。

また、今ほど、白寿、

米寿、喜寿、金婚のお祝いをお受けになられました皆様、誠にありがとうございます。これからも、ますますお元気で過ごしていただくことを祈念申し上げます。

さて、高齢化の進展は、ややもすると、社会保障費の増大と重ねて悲観的に論じられることが多いのですが、実は、要支援・要介護の認定を受けた人は65〜74歳では43%に過ぎず、当然年齢が高くなると認定率も上がっていくわけですが、75歳以上でも全体で31・8%です。つまり75歳以上でも約7割の人は、身の回りのことに不自由なく生活しているということになります。

こうした状況を肯定的に捉える向きがあります。戦後の高度成長期を中心に一貫して低下したのが「地域で過ごす時間」と言われておりましたが、逆に、この高度成長期を支えた方々が高齢期に入り、最近で

は、地域の様々なことに関心の向く人々が一貫して増加する時代に入ったと言われています。

実際、高齢者が地域を支える例が各地で見られます。身近な道路・公園の美化活動や、地域を見守る防犯パトロールなど、これらの活動は、これまで行政が担うべきと考えられてきた役割を代替するだけでなく、行政が担いきれない役割を補完するものでもあります。

こうした状況を踏まえますと、これから目指すべきは「高齢者を支える社会」ではなく「高齢者が支える地域社会」をいかに構築するかということであると言えます。

地域活動への参加は高齢者の方々にもメリットがあり、「身体的健康」「精神的健康」「社会的健康」という健康の三要素をすべて良好な状態に保つことができると言われています。

しかし、地域活動に関心があっても、きっかけがなかったり、どういった活動に取り組みやすいのか分からなかったりして、参加されていない方もおられます。



また、地域活動団体側にも、メンバーの世代交代ができず、活動の継続が困難になった団体も多く見られます。

高齢化が進む地域の、より良い将来を展望するためには、このミスマッチを解消する知恵が求められています。

私も社会福祉協議会でも、一方的に支えられるのだけでなく、全ての立場の方々が、地域で役割をもつ活躍できる地域社会の実現を目指して、地域社会が高齢者に期待する役割を、高齢者の方々の生きがいややりがいにつなげていきたいと考えます。

そのため、皆様にいろいろお世話になることもあろうかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

最後に、今年は、新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの流行も懸念されておりますので、皆様には、くれぐれもお体をご自愛いただき、お過ごしいただきたいと思います。

本日はご参加の皆様方、ますますのご健勝をご祈念申し上げます。はなはだ簡単ではありますが、高齢者大会開催に際してお祝いの言葉とさせていただきます。



本日は、誠にありがとうございます。

慶祝者代表の謝辞

当日いただいた慶祝者代表の
謝辞をそのまま紹介します

自分にきびしく
人には親切、社会につくす
舟崎 森 政一



本日はかくも盛大に、高齢者大会を開いていただき、白寿、米寿、喜寿、金婚のお祝いを賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

私は米寿八十八歳、まだまだ先のことと考えておりましたが、早くも米寿、若いころから考えますと、夢のようであります。私共は戦中戦後の苦しみはありましたが、勤勉さと努力により経済成長を達成し、一時的には世界第二位の経済大国になりました。

しかしながら平成に入り、バブル経済の崩壊と混乱が続ぎ、忘れられた二十年、いや三十年と低成長に入りました。政治経済の正しい政策が求められるところです。

現在はデジタル化で挽回と、政府も言っており、しっかりと進めて頂きたいものであります。

最近問題になっております、旧統一教会問題はこれを機会に、しっかりと根絶して、いただきたいと思っております。

政治家には最も弱い選挙時に近づ

かれ、ついついお互い利用されているようでありますが、近江商人の共通理念「自分よし、相手よし、世間よし」の三方よしを、思い出しただきたいと思えます。

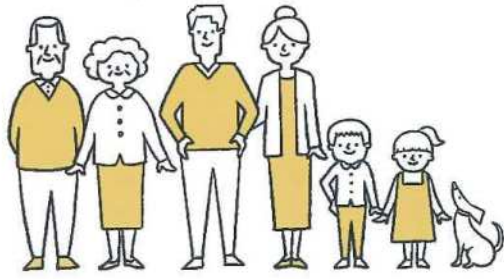
政治家は「世間よし」が第一であり、旧統一教会の実態を、しっかりと調べるべきであります。

私事になりますが、先日子供たちが米寿のお祝いをしてくれました。そこで私は何を返すべきか、八十八歳の翁として、何か言葉を送るべきではと、いろいろ考えましたところ、私の勤めていた滋賀銀行の行是をお借りすることにいたしました。

「自分にきびしく、人には親切、社会につくす」という言葉で、わかりやすくまとめられていると思えます。日常生活指針として、実践すべく、子や孫に配布しました。

現在ではコロナの関係で、共助、助け合いが

困難になっておりますが、お互いに相手を思いやる、心の絆を深めなければなりません。



老く連の健康、友愛、奉仕は全ての人々の生活理念でもあり、時代の変化に対応しつつも、しっかりと進めていただくことが、地域の活性化につながるものと思えます。

私も健康推進員に加入するなど、新しい知識を身につけ、健康寿命を保つことに心がけております。

本日このように米寿を迎えられたことは、地域の皆様の暖かいご指導、ご支援の賜物と、重ねて感謝申し上げます。



有難うございました。

単老だより

これからの老人クラブ活動について

多和田 北川昭夫

新型コロナウイルスが拡大し三年目が過ぎようとしている昨今、未だ収束の気配を見通せない現代、クラブ活動に於いても自粛生活を余儀なくされております。

加えて近年高齢化が加速し新規入会者も激減し、会員数も減少の一途をたどっております。

その中でも何とか現状を維持するためコロナ禍ではありますが、各行事を許せる範囲で実施して会員相互の親睦を図っておりますが、なかなか思うようにゆきません。

そこで一つ考えたのですが、老人クラブ単独での行事は高齢化も合わせ開催も困難でありますので若い世代との交流をできるようなイベント等を実施し、世代間交流を行い今後の老人クラブの裾野を広げる活動も大切なのではないかとおもいます。

老く連のほうでもその様なイベント等の立案をたてただければ幸いです。

人生百年の時代が既に到来していると言われております。これから益々



朱印帳作り「私の朱印帳」

こういう事業、行事が大切になって来ると思えます。他の単老の皆様、何かいいご提案がありましたら教えて下さい。

「近江地域ええとこ再発見 スタンプラリー」実践への取組み 近江母の郷ニュータウンシニア会 北村 清

「新型コロナウイルス感染者が国内20万人超、第6波、ピークから倍増」との新聞の見出しが目には飛び込んできます。第7波に入り、連日、全国各地の感染者数が更新されていますが、最近では徐々に減少しています。感染対策と社会経済活動の両立を図るため行動制限は行われていません。

私たち高齢者は重症化リスクが高いと言われており、食事会などの行事開催は躊躇されます。

計画した行事を完全に実施できる日が来るのだろうか。不安がよぎります。

さて、昨年9月に、近江老く連から、「外出自粛が長期化した中で、外歩きを楽しみながら身体を動かすきっかけになるように」との趣旨で「スタンプラリー」が提供されました。まずは役員会を開催して、朱印帳作りを体験しました。その結果、会員にも参加を募って取組むことに



「Stamp Rally」2022

なりました。幸いなことにこの時期は、第5波が収束して安定期に入っていたので、感染対策を施して、朱印帳作りを兼ねてお楽しみ会（ハラハラドキドキ抽選会）も開催することになりました。

当日の参加者は、会員35名中26名で、会長から作成手順の説明をし、朱印帳作りには取組んでいただきました。結構複雑な工程もあり、お互いに、ああでもない、こうでもないなどと言いつながら作成していただきました。

私は、これをチャンスに、できるだけ徒歩で廻ることにしましたが、真冬期に入ったこともあり、一部の地区は自家用車でのスタンプラリーとなりました。

子どもの頃に訪れた地区を、朱印帳を手に、改めて訪問して、旧地区は昔と同じたすまいのままのところが多く、懐かしい思いを禁じえませんでした。

朱印帳作りに参加された会員のスタンプラリー状況を調査させていただいたところ、次のような結果となりました。

- ・自分で全区を回りスタンプラリーを完成させた方 9名
- ・誘い合って自家用車に乗り合わせて全区回りスタンプラリーを完成させた方 7名
- ・徒歩で行ける区のみスタンプラリーした方 5名
- ・健康の都合上スタンプラリーできなかった方 5名

老人クラブへの思い

舟崎 藤田丈衛

最近はコロナ禍で全てのことが白肅ムードの中、当会の年間主事業である廃品回収・舟崎まるごと保全環境美化事業（耕作地の空缶拾い）、神社の葉刈り、友愛活動、スポーツ大会への参加等、計画された上期の事業は全て実施しました。

新規として、今年新しくスタンプラリー用に指定された歴史探訪地の整備、それに併せて有志による朱印帳作製、更に本部が推奨されている軽スポーツ競技（モルック）の体験会を事務局の指導で開催する運びとなりました。

各種事業が行えたのも会員各位の協力のお陰と思ひ、前々から楽しく



空缶拾い

談笑する機会（時間）を多く持ち、楽しく過ごすことが老人会の本来の有り方と考え、作業終了後の休憩時には例年より予算を倍増し、飲食物を準備しました。

スポーツ大会の慰労会も喫茶店からランチ予約し会食としましたところ、会員から「楽しかった」との言葉を聞くことが何より嬉しい限りです。

私が老人会に入会した経緯は、親世代が区民運動会で老人会競技を全員が楽しく競技をしている姿を見て、将来は老人会入会を決め、60才で入会、10年が経過しました。

最近新規会員の入会も無く、活動参加者も殆ど変わりません。

更に旧町、市老人会も退会が多く半減しました。

個人会員の入会がありました

近江老ク連では昨年から個人会員を募集していましたが4名の方の入会がありました。

秋桜クラブ(代表者林さん)としてグループでの入会です。

これからは共に活動していきましょう。

太いに楽しんでください。

「わたし達はあなたの参加を待っています」



活発な地域交流の機会も少なくなく、先々老人会の運営が出来ない状況になるのではないかと危惧しております。老人会活動は一助なりとも地域に貢献していると思えます。

その活動している姿を次世代のひとが見て、何かを考えられる事を察していただければ幸いです。

皆様のお願いとして、高齢者になると活動範囲も狭くなり、それに伴い人とのつながり（会話）も少なくなり手助けをするのも老人会であることをご理解下さい。



コロナに負けるな！ 3年ぶり 高齢者スポーツ大会開催

第31回米原市老ク連高齢者スポーツ大会が9月20日(火)長浜バイオ大学ドームにて開催されました。コロナ禍により中止となっていました。ふれあい体育祭同様、開会式を簡素化し、閉会式・昼食を取りやめ、午前中のみとする事で3年ぶりに開催することができました。

近江・伊吹老ク連から114名・91名の計205名の代表選手が出場し、グラウンドゴルフ、ペタンク、ワナゲの種目で熱い戦いを繰り広げました。

成績は下記の通りで好成績を収めることができました。

久しぶりに会う会員もいて相互の親睦・絆も深まり有意義な大会となりました。

(体育部)

種目	1位	2位	3位	4位	5位
グラウンドゴルフ	村木	世継	宇賀野A	宇賀野C	上野A
ペタンク男子	伊吹	多和田	世継	大清水	杉澤
ペタンク女子	世継	宇賀野	伊吹A	伊吹B	高溝
ワナゲ男子	伊吹	寺倉	宇賀野	上野	大久保
ワナゲ女子	舟崎	母の郷	寺倉	大久保	春照



女性部長会議とデコパージュ

去る11月9日「近江老ク連女性部長友愛会議」が開催されました。

今年度の友愛訪問品は「ひざ掛け」です。

寒さが厳しくなるといわれているこの冬を、心も体も少しでも暖かく過ごしていただきたく思います。

また、その友愛活動に際して米原市の傾聴ボランティアの井上さんから、傾聴ボランティアについての基本的な心構えなどのお話をいただきました。



女性部長会議



②和紙にスタンプを押す
③色を塗って糊で貼る



①絵柄(消しゴムスタンプ)を選ぶ



スタンプラリー 記念品

作品1

作品2

その後「近江地域歴史探訪スタンプラリー」の景品(ブックスタンド)をデコパージュする作業を、彦根市の消しゴムはんこ作家 重信瞳さんの指導の下、体験作成しました。全員が苦戦?しながらも完成品を披露して楽しいひと時を過ごしました。

※デコパージュとは自分の好きな紙を切って、無地の小物にその絵柄を移し貼る手芸の一種 (厚生友愛部)

「モルック」愛好者拡大中!

近江老ク連では、去る7月22日に各単老会長様、女性部長様に「ニュースポーツ「モルック」を体験していただきました。

その結果、興味を持っていただいた舟崎、長沢、寺倉において9月から11月にかけて「モルック体験競技会」を実施されましたので、写真で紹介いたします。

いずれの老人クラブでも楽しくプレーしていただき、3クラブとも大好評で2回目も実施されました。ルールは簡単でだれでも参加できる競技ですが作戦を考える要素もあり今、各地に広まりつつあるニュースポーツです。



寺 倉



長 沢



舟 崎

近江老ク連では2セット購入し常備していますので、各単老においても体力づくりには是非取り入れてみてください。ご連絡は事務局までお願いします。(体育部)